

第6回 OMIC 事業推進セミナーご案内

おかやまメディカルイノベーションセンター（OMIC）」（岡山大学医療系キャンパス内に設置）は、分子イメージング技術を核とした、産学官連携による医療産業の創成を目指しております。このたび、その事業を推進するための第5回セミナーを下記により開催しますので、ご参加くださいますよう、ご案内いたします。

- 日 時： 平成24年11月14日（水） 14:00～15:05
- 場 所： 岡山大学鹿田キャンパス（岡山市北区鹿田町2-5-1）
総合教育研究棟1階データ解析検討室
(地図) http://www.okayama-u.ac.jp/jp/shikata_j.html
- 参加費： 無 料
- 申 込： E-mail 等により、所属、役職、氏名をご記入の上、お申込みください。
- 主 催： 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科産学官連携センター
特定非営利活動法人メディカルテクノおかやま

◆プログラム

- 1 開会挨拶（14:00～14:05）
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科産学官連携センター長 公文 裕巳
- 2 講 演（14:05～15:05）

「MALDI の基礎から MS イメージングへの応用」

質量分析の一手法である MALDI-TOF MS (Matrix-assisted laser desorption / ionization time-of-flight mass spectrometry) はタンパク質の同定やその翻訳後修飾の構造解析など、生体分子の精緻な分析に威力を発揮しています。これらは主に対象試料の単離・分画を前提とした技術展開ですが、近年この MALDI-TOF MS を用いて、組織切片をはじめとする生体試料を直接分析する試みが活発化し、医学・生物学をとりまく先端計測技術として注目を集めています。なかでも質量分析結果をマススペクトルだけでなく、二次元の質量分布で表す MALDI-MS イメージングは世界中の多くの研究者がその技術開発・向上に取り組む大変ホットな分野です。これは組織切片上に存在する様々な生体分子や投与薬物を MALDI-TOF MS で測定し、そのデータを位置情報とともに質量分布として変換するものであり、今まで質量分析には直接接点のなかった、病理学や薬物動態研究などの種々の領域でその応用性が期待されています。

今回は MALDI を中心にして測定原理など質量分析の基礎を概説するとともに、MS イメージングについて「どのように行うのか」「何が見えるのか」等、その現状と可能性を議論したいと思います。

講師：株式会社島津製作所 分析計測事業部 グローバルアプリケーション開発センター
ライフサイエンス G グループ長 古田 大 氏

このセミナーは、博士課程授業科目の「研究方法論（基礎・応用）」の授業に出席したとみなされる講演会」としてカウントすることが可能です。“授業とみなす講演会出席記録簿”を持参して、開催担当教授の印を受けて下さい。

(お問い合わせ・お申込先)

特定非営利活動法人メディカルテクノおかやま

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1

TEL&FAX: 086-234-0067 e-mail:medical@optic.or.jp